田川議員(公明党)

平成 26 年 12 月 11 日 教育長答弁実録 (教育委員会)

(問) 校種ごとの教諭の平均年齢の偏りについて

年齢別の分布をみると、小学校は平準化しているが、中学校及び高等学校はかなり偏りがあるのではないかと思う。中学校では、54歳の教諭が一番多く189人で、一番少ないのは22歳の39人となっている。高等学校はもっと極端で、一番多いのは53歳の158人で、一番少ないのは22歳の17人である。

この偏りをどのように考えるのか、また、どのように改善しようとしているのか、併せて伺う。

(答)

現在の教職員の年齢構成は、中堅層が薄く、高齢層が厚いという偏りがあり、 このことは若年層へのノウハウの伝承や、将来管理職となるべき人材の不足な どの課題があると考えております。

このため、将来の児童生徒数の推移や、今後見込まれる教員の大量退職など を踏まえつつ、採用の年齢制限を引き上げたり、現職教員を対象とした特別選 考を導入するなど、年齢構成の平準化に努めているところでございます。